



1:Victor tan



1:D.J.E.J



1:長谷部 龍輝



1:高橋 裕子



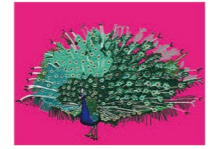
1:磯田 洋夫



1:坂庭 義成



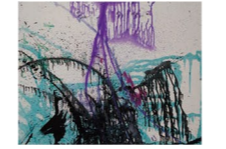
1:佐久丸



1:柴崎 健利



1:関口 エイ子



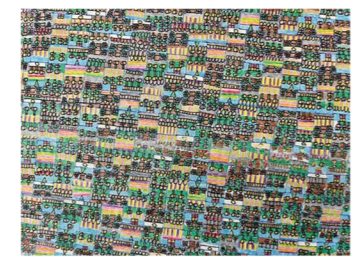
1:渡崎 剛生



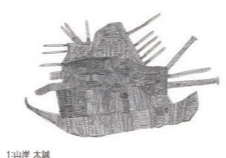
1:平川 寛純



2:齋藤 伸一



2:土田 学



1:山岸 大誠



1:高田 聖治



3:都築 沙



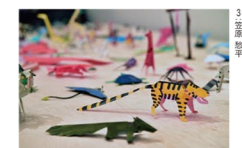
3:小林 健太郎



3:藤原 悠貴



3:山口 由紀子



3:藤原 悠貴



3:藤原 悠貴



3:藤原 悠貴



1:藤田 和



1:藤原 悠貴



1:渡崎 剛生



1:渡崎 剛生



1:白山 七葉



横井 雅美

「埼玉県障害者アート企画展」  
「アートミーティングat  
さいたま国際芸術祭」  
「南関東・甲信ブロック合同企画展」  
の3つの展覧会が  
埼玉県立近代美術館に集結!

埼玉県障害者アート企画展「Coming Art 2023」は今年で14回を迎える埼玉県内の障害のある作家を紹介する大規模展覧会。今年も常連作家の新作や、日々の生活から生まれた多様な作品が並びます。  
「アートミーティングatさいたま国際芸術祭」はさいたま国際芸術祭2023市民プロジェクトの一つである「創発inさいたま」のキュレーター企画事業として開催します。さいたま市と新潟市で活動する障害のあるアーティストの初めての交流展覧会です。

南関東・甲信ブロック合同企画展2023「カウンターポイント-それぞれの寄り添う  
かたち」は、障害者芸術文化活動普及支援事業(厚生労働省)により、東京都、神奈川  
川県、埼玉県、千葉県、長野県、山梨県に設置されている芸術文化活動支援センター  
の合同によるものです。



飯田 大空 尾澤 悠貴

2023年11月29日(水) - 12月3日(日) 10時~17時 (最終入場は16時30分) 会期中無休  
埼玉県立近代美術館 一般展示室1・2・3・4 [地下1階] 入場無料



会場  
埼玉県立近代美術館  
一般展示室1・2・3・4 [地下1階]  
埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1  
Tel:048-824-0111

お問い合わせ  
社会福祉法人みめま福祉会 工房集  
Tel:048-290-7355  
Fax:048-290-7356  
E-mail:artcenter@kobo-syu.com  
URL:https://artcenter-syu.com



山口 由紀子

# Coming Art 2023

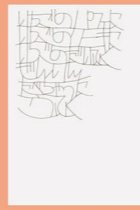
Exhibition  
The Museum of Modern Art, Saitama



## Coming Art 2023

第14回埼玉県障害者アート企画展  
カミングアート2023

埼玉県内の障害のある作家103名の多様な作品を一堂に展示



小島 真生

一般展示室 12

今年で14回目を迎える埼玉県障害者アート企画展。埼玉県が実施する「障害のある方の表現活動状況調査」には毎年、「これってアート?」と思われる表現から、社会的に注目を集める作家の新作まで実に多彩な作品が集まります。この調査票をもとに、30以上の福祉施設や行政の職員、美術の専門家などがネットワーク(埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±0)を結び、それぞれの視点で話し合いながら出展作品を選考しています。本展では、交ざりあう価値観の中から選び抜かれた、103名の作家による600点を超える作品をお届けします。

### ■関連イベント アーティストトーク

日時:12月2日(土) 10:30~14:00~ [予定]

出展作家や支援者が作品について想いを語り、トーク予定の出展作家についてはHPをご覧ください。



小嶋 海 知生



小島 真生



「なぜ?」「どうして?」「これって、アートなの?」

埼玉県障害者アート企画展は、いわゆる一般的な障害者アートの公募展とはかなり違った展覧会です。作品のクオリティが高いことに加えて特筆すべきは「表現のバリエーションが豊富」なこと。それはなぜ、どうしてなのか。障害がある人たちの個別の「表現」に関する詳細や考察を写真付きで記した埼玉県独自の「表現活動状況調査」の取り組みも大きいでしょう。オーソドックスな絵画や立体作品だけではなく、「一見理由はわからないが続いている「行為」や「収集しているもの」などもその人の「表現」の可能性としてとらえるなど、一般的な「アート」の枠をはみ出す実に幅広い豊かな「表現」の数々がとても魅力的で面白いのです。展示する作家・作品のセレクトには、美術の専門家だけでなく福祉現場で働くスタッフ、弁護士、デザイナーなども加わり、それぞれの視点から多様な価値観を反映したセレクトションになっています。「なぜ?」「どうして?」「これって、アートなの?」―「芸術」という枠を超えた人間のやむにやまれぬ「表現」の多様性。それが一望できる展覧会です。

本展監修:中津川 浩章

# niigata ↔ saitama

Exhibition  
The Museum of Modern Art, Saitama



## niigata ↔ saitama

アートミーティング at さいたま国際芸術祭  
さいたま国際芸術祭2023 市民プロジェクト「創発 in さいたま」

障害のあるさいたま市の作家6名と新潟市の作家7名の初めての交流展覧会



小島 真生

一般展示室 3

埼玉県は2009年から障害のある人の表現活動の状況調査を行ってきました。その調査をベースに作品を選定し、展覧会を開くという独自の手法は、全国でも注目されています。新潟市では、その手法を参考にして、調査を元にした展覧会が2020年から始まりました。この「アートミーティング at さいたま国際芸術祭」は、さいたま市のアーティスト6人と新潟市のアーティスト7人を交えた初めての交流展覧会です。文字や言葉への興味、乗り物への集中力、描かれた地域の物語、繊細な線や奔放な色など、アーティストそれぞれの作品は独自の表現ですが、ときには似たような関心が見えてきます。生きることが表現することであるような作品と出会うこと何かが感じられるでしょうか。

本展は、さいたま国際芸術祭2023市民プロジェクトの一つである「創発 in さいたま」のキュレーター企画事業として開催する展覧会です。 監修:前山裕司

### ■関連イベント ギャラリートーク

「表現の種をまく さいたまから新潟へ」

埼玉県が障害者アートを推進してきた独自の手法について、また新潟県での広がりについて、そして今後の展望について語ります。

日時:12月3日(日) 11:00~12:00 [参加費無料]

場所:埼玉県立近代美術館 一般展示室3

登壇者



新潟市美術館特任館長  
前山 裕司



アーティスト、アートディレクター  
中津川 浩章



〈公報〉新潟市芸術文化振興財団  
アートカンパニール新潟プログラムオフィサー  
橋本 一子

### 「創発 in さいたま」について

2009年より始まった埼玉県のアーティスト、ギャラリー、美術関係者をつなげ、ひとつのムーブメントを生み出そうとする活動「さいたま美術展 < 創発 > プロジェクト」。今回は「さいたま国際芸術祭2023」に合わせ、さいたま市を中心に3つのプログラムを展開します。画廊や美術館、キュレーターが行う「展覧会プログラム」、市民や学校が参加する「イベントプログラム」、これらの情報を発信する「広報・記録プログラム」。地域にゆかりのある作家やギャラリー、関係者、さらには市民とともに地域と美術の能力を掘り起こしていきます。

※創発: 部分の性質の単純な総和にとどまらない特性が、全体として現れること。

- 主催: さいたま国際芸術祭実行委員会、社会福祉法人みゆま福祉会
- 協力: 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団アートカンパニール新潟、新潟県障害者芸術文化活動支援センター、新潟市
- 監修: 前山裕司(新潟市美術館 特任館長)
- 出展作家: 石塚亮、今井真由子、宮藤裕一、巻々木春彦、柴田賢一、杉浦寛、杉浦政治、田中勝彦、土師学、平塚聖美、松島真月、宮川和理子

# Counter Point

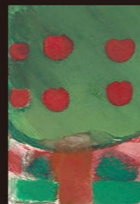
Exhibition  
The Museum of Modern Art, Saitama



## Counter Point

「カウンターポイント―それぞれの寄り添うかたち―」  
南関東・甲信ブロック合同企画展2023

南関東・甲信の1都5県の障害のある作家11組のジャンルを超えた多彩な作品を紹介

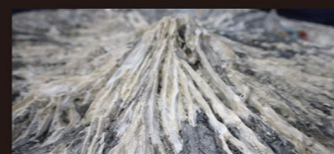


小島 真生

一般展示室 4

昨年度開催した南関東・甲信ブロック合同企画展「カウンターポイント-それぞれの寄り添うかたち-」展の内容を踏襲し、今年度も「寄り添うかたち」をテーマに障害のある人の絵画、立体作品、演劇や人形劇などのジャンルを超えた多彩な表現をご紹介します。また、「地域×福祉×支援×表現」という切り口で各センターと作家、施設、支援者との関係性をお伝えします。

※カウンターポイント: 複数の意味をもつ、それぞれの独立した意味をもつ2つ以上の共通する意味



山本 実

### ■関連イベント パフォーマンス実演

OUTBACKアクターズスクールのパフォーマンス、金澤一摩さんによる人形劇を実演します。

日時:12月3日(日) 14:00~

会場:一般展示室4

- 主催: 南関東・甲信障害者アートサポートセンター、社会福祉法人みゆま福祉会
- 協力: 東京アートサポートセンターRights(ライツ)、神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター、千葉アール・プロジェクトセンターうみのもり、YAN山梨アール・プロジェクトネットワークセンター、埼玉県障害者芸術文化活動支援センター アートセンター東、ART(s)EINKU、サウスキヤポートセンター(長野県障がい者芸術文化活動支援センター)、OUTBACKアクターズスクール、S&Aのいご場
- 助成: 令和5年度障害者芸術文化活動普及支援事業(厚生労働省)
- アドバイザー: 中津川浩章
- 出展作家: OUTBACKアクターズスクール、尾澤佑貴、笠原結平、金澤一摩、小林健太郎、佐谷香、高橋朋之、都築沙、寺々力モニカ、柳本吉隆、山本実



OUTBACKアクターズスクール



山本 実

### ■出展作家(カミングアート2023 103名)

- 相澤太郎、阿久津英二、阿部香織、向部美幸、新井美沙、荒井玲良、飯田大空、五十嵐球斗、石井章、石川京子、石川直人、瀧田淳夫、伊藤裕、稲垣穂香、岩井大知、内田拓磨、及川礼、大津明、大野麗華、尾ヶ井保秋、小嶋海知生、金谷悠太、金子隆夫、川俣大輔、後藤彩花、小林一純、コバヤシカオル、小林大河、小林ちやん、小牧美穂、斎藤健視、齊藤元、坂庭義信、佐藤謙生、権橋豊、柴崎優希、柴田和、白山七恵、シェウシェウ、杉田大河、杉山直樹、関口エイ子、関口直子、関野博史、高橋典光、高橋裕子、田中裕貴、子バイサム、塚田裕隆、出羽まいる、富田聖治、なお丸、長澤真、中野忠、並木信弘、西川泰弘、新田新汰、野口敏久、野村真優子、長谷川栄子、長谷部航輝、羽生田優、はみん、林良樹、平川真隆、フエリノク、福島尚、へのホン、真嶋翔生、益子里菜、町田真香、松尾大輔、松崎悠希、丸谷祥悟、三好達、森川里緒奈、森羽虫、森理葉子、前内裕樹、山岸大誠、山口敏夫、山口由紀子、山崎利之、織、用田祐一郎、横井雅美、横山涼、吉川健司、吉田真司、吉永武、吉野亜紀、吉野孝紀、ヨッシー、chigusa、D.J.E.J.、EMI、Fumi、K.D.、KOUJI、Mi、Yasuhiro Nonaka、Victor tan

### 情報配信

後日、展覧会とギャラリートークの様子をインスタグラム等で配信します。



YouTube



Instagram

